

資料

アブラコウモリ生態資料

— 川崎市中原区小杉陣屋町付近における — その(3) 周年活動記録

谷口勝直*・峯岸秀雄**・木下あけみ***

Ecological Note of *Pipistrellus abramis* (TEMINK, 1840)

— a population at Kosugijinya cho, Nakahara ku, Kawasaki City, Kanagawa, Japan —
Part (3) Seasonal Occurrence.

Katunao TANIGUCHI, Hideo MINEGISHI, Akemi KINOSHITA.

1 はじめに

川崎市中原区小杉陣屋町付近における、アブラコウモリの生態に関する谷口勝直氏の調査は、毎日毎日一戸ずつ歩かれた数年間に及ぶ詳細なものであり、1988年の第一報で生息密度を、1990年の第二報では「ねぐら」について報告した。今回は周年活動の記録として、ことに年間における、春期の初認日と、本格的活動の開始日及び冬眠開始日についての観察記録を報告したい。いずれも、各年度の具体的な観察日時と場所、個体数及び気温を示している。本邦における各種の動物の生態は、近年順次明らかにされてまとめられつつあるが、このアブラコウモリのような比較的ポピュラーな動物でも具体的な報告はまだ乏しく、又、各地における差もある。そして、その生態は、このような具体的な裏付けの集成であることを示すために、又、同様な観察を志す方々への資料・方法の手引としても、あえて全くのオリジナルデータを提出する所以である。(峯岸)

2 観察記録(1987-1990年)

4年間の観察を、1)冬眠あけ、2)暁天顔見せ、3)朝の別れ、4)冬ごもり、の時期で整理した。「冬眠あけ」とは、夕方日没時刻前後の観察でコウモリを見つけ、その日以後徐々に多くのコウモリを夕方観察できるようになった日である。この日より前に暖かい日にコウモリが飛ぶこともあるがその後続かないので区別できる。「冬眠あけ」をすぎ気温が上がってくると、観察できる時間帯が長くなっていく。活動時間帯がのび、夕方だけでなく日出時刻前後の観察でコウモ

リを見つけられるようになった日が「暁天顔見せ」である。「朝の別れ」「冬ごもり」はそれぞれ、日出前後又は日没前後でコウモリを観察できなくなった日である。

また、気温は次のようにして測ったものを付記した。棒状水銀温度計を谷口自宅の外(南側、高さ60-70cm、直射日光あたらず)につるし、すだれで周りをおおい通風のために東西をあけた。新聞発表の正午の気温と1°前後の誤差にするため、場所・設置方法などを工夫した。

1) 冬眠あけ(3.4 ~ 3.9)

年月日	コウモリを観察した時刻 (日没時刻)	気温(℃) (時刻)	天候
1987. 3. 7	18:07 (17:38)	14.0(17:00) 13.0(18:00)	ウスハレ
1988. 3. 9	18:00-18:10 (17:48)	9.2(17:00) 9.1(18:00)	〃
1989. 3. 4	17:40-18:00 (17:39)	17.6(17:00) 18.0(18:00)	ハレ
1990. 3. 9	18:10 (17:43)	12.2(17:00) 12.2(18:00)	〃

- 1987. 3. 4 18:07 小杉陣屋町748小川宅(ねぐらNo.9)前をコウモリが1匹飛んだ。たったの1匹である。他所には全く見られなかった。
- 1988. 3. 9 18:00-18:10 小杉陣屋町670日本プロセス社宅庭でたった1匹出た。楠の北側で10分間

* 川崎市青少年科学館市民自然調査団
** 日本女子大付属高校
*** 川崎市青少年科学館

舞って消えた。雲は日中南→北へゆっくり動いていたが次第に西南→東北に変わってきた。1 mの深さの水槽で今年はずじめてメダカが水面に顔を出した。

- 1989. 3. 4. 17:40-18:00 日本プロセス社宅庭に舞う。いままでの年と違って1匹出たのではなく、次々と出てきて楠の北側で4匹が舞う。風はかなり強い。空は南から北へ吹き抜けるような速い雲の流れである。
- 1990. 3. 9. 18:10 日本プロセス社宅庭、日没時刻より27分あとだった。楠の北側を舞う。たった1匹だった。西空は黄色に暗色が困った。

2) 暁天顔見せ(5. 8~5. 15)

年月日	コウモリを観察した時刻 (日出時刻)	気温(°C) (時刻)	天候
1987. 5. 11	4:22 (4:40)	17.0°(4:00) 16.0°(5:00)	くもり
1988. 5. 15	4:25 (4:36)	16.2°(4:00) 16.2°(6:00)	くもり
1989. 5. 9	4:30 (4:41)	14.3°(4:30)	ウスハレ くもり
1990. 5. 8	4:35, 4:46 (4:42)	17.6°(4:30) 17.5°(6:00)	雨 雨つよい

- 1987. 5. 11 4:22 上丸子天神町 ニュー玉川マンション下河川敷内で3匹舞う。
- 1988. 5. 15 4:25 小杉陣屋町663 成就院北側空地、多摩川から次から次へと10匹余が戻ってきた。
- 1989. 5. 9 4:30 小杉陣屋町623 西村宅(ねぐらNo.93)櫓の梢で3匹舞う。空はくもり空で北天の星全く見えず。
- 1990. 5. 8 4:35 同上宅櫓の梢で3匹舞う。すぐ川に向かう。川沿いの歩道橋から見ると、薄いもやで全体に灰青という色の感じ — 濃灰青とも深灰青とも — 河川敷では見つけられず。4:46 小杉陣屋町671 伊藤荘(ねぐらNo.94)2階南側で振りを8回も繰り返して窓上のまぐさに入るコウモリを見つけた。窓の庇で暗がりとなり、とても見にくい場所である。

3) 朝の別れ(10. 7 ~ 10. 16, 表1)

この頃になると、金木犀の香りが街に漂い始め絨毯

を敷きつめたように黄色い花が道路を覆い、人は長袖シャツに衣替え、時に吐く息が外灯に白く映るようになり石油ストーブを部屋に持ち出すようになる、そんな季節である。

この時期、夕方の観察を参考に記す。

- 小杉陣屋町小川(ねぐらNo.9)宅のコウモリ出巢
1987. 10. 3 17:24 ~ 17:51 131匹
10. 18 17:17 ~ 17:30 132匹

4) 冬ごもり(11. 15 ~ 12. 6, 表2)

(谷口・木下)

3 考 察

記録が示すように、他の冬ごもり(冬眠又は冬期の活動が非常に少なくなる)をする動物においてと同様、このアブラコウモリも冬ごもり入り及び冬ごもり明けが、同一場所ではほぼ同一期間内に行われることが明らかである。毎年、冬眠明けが3月5日前後、本格的に終夜の活動が始まるのが5月10日前後、活動が部分的になるのが10月10日前後、そしてまったく冬眠に入り見えなくなるのが11月下旬~12月初旬にかけてである。又、このように、少しずつ活動量が増え、又、減っていく様子がよくわかる。そして、その原因が気温であることも認められる。何度であると断定するには、もう少し時間が欲しいと思う。(峯岸)

文 献

- 1) 谷口勝直・峯岸秀雄・木下あけみ(1988) アブラコウモリ生態資料 — 川崎市中原区小杉陣屋町付近における — その(1) 密度。川崎市青少年科学館年報(昭和62年)No.5 pp. 23-30. 川崎市教育委員会。
- 2) 谷口勝直・峯岸秀雄・木下あけみ(1990) アブラコウモリ生態資料 — 川崎市中原区小杉陣屋町付近における — その(2) ねぐら・出入口及び個体数について。川崎市青少年科学館紀要(1) : 29-34. 川崎市教育委員会。

表1 朝の別れ(10.7~10.16)

1987年				1988年				1989年				1990年			
月	6時	暁天の数 ¹⁾	18時	月	6時	暁天の数 ¹⁾	18時	月	6時	暁天の数	18時	月	6時	暁天の数	18時
日	気温	時間・所 ²⁾	気温	日	気温	時間・所 ²⁾	気温	日	気温	時間・所	気温	日	気温	時間・所	気温
10月				10月				10月				10月			
3	16.4	○	23.0	3	17.6	1	20.4	3	17.3	2	18.6	3	17.2	1	J23.0
4	—	—	—	4	16.4	3	19.9	4	16.2	○	18.0	4	—	—	24.9
5	17.7	○	24.0	5	16.3	○	18.0	5	15.0	○	21.6	5	22.8	○	25.1
6	20.3	18	19.0	6	16.8	○	18.5	6	18.8	○	20.8	6	22.9	3	24.8
7	18.2	3	22.4	7	17.1	○	20.5	7	19.6	○	18.0	7	20.1	1	L19.4
		5:30B													
8	19.3	○	23.1	8	18.1	2	D16.5	8	14.7	○	14.9	8	16.8	○	17.6
9	18.8	○	21.4	9	15.0	○	19.5	9	11.5	○	16.8	9	17.0	○	19.0
10	17.6	○	19.0	10	16.8	○	20.6	10	11.4	○	19.0	10	14.7	○	17.2
11	14.3	○	20.0	11	13.8	○	21.0	11	15.3	○	14.4	11	11.3	○	—
12	17.2	○	19.9	12	18.2	2	E17.6	12	15.3	○	19.2	12	14.2	○	18.5
13	16.3	○	17.6	13	15.3	○	15.1	13	17.6	1	21.1	13	16.3	○	17.2
14	14.1	○	22.0	14	13.8	○	16.5	14	16.3	1	20.7	14	17.1	○	—
15	18.3	○	16.3					15	16.0	○	21.2	15	20.6	5	19.5
16	16.0	○	17.1					16	15.3	3	21.5	16	18.4	○	21.0
17	17.4	○	23.6					17	16.0	○	14.7	17	18.7	○	21.0
18	17.6	○										18	19.6	○	—
												19	17.2	○	20.0

表1・表2の注:

1) ○は「発見できず」、—は「観測しなかった」を表す。

2) 場所は以下の通り。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| A. 上丸子天神町周辺 | L. 小杉陣屋町826 西村寿宅上 |
| B. " 50昭和電工アパート上 | M. " 748 小川宅(No.9)上 |
| C. " 61池端宅上 | N. " 658 村松宅上 |
| D. 多摩川河川敷(小杉陣屋町付近) | O. " 671 伊藤精一宅上 |
| E. 小杉陣屋町623 西村宅(No.93) けやき上 | P. " 624 菅野宅上 |
| F. 二ヶ領用水白田橋(宮内715) | Q. 等々力ポンプ場上 |
| G. 小杉御殿町940 福本宅上 | R. 小杉陣屋町658 豊岡宅上 |
| H. 上丸子天神町342 菊地宅上 | S. 上丸子天神町60 都築通信寮上 |
| I. 小杉陣屋町347 西村宅上 | T. 小杉陣屋町670 日本プロセス社宅上 |
| J. " 733 妙泉寺上 | U. " 663 成就院上 |
| K. 上丸子天神町302 神社上 | V. " 654 井上宅上 |

表2 冬ごもり(11.15~12.2)

1987年			1988年			1989年			1990年		
月	18時	夕方の数 ¹⁾	月	18時	夕方の数	月	18時	夕方の数	月	18時	夕方の数
日	気温	時間・所 ²⁾	日	気温	時間・所	日	気温	時間・所	日	気温	時間・所
11月			11月			11月			11月		
14	12.0	○	14	14.2	1 P	14	13.0	○	14	16.3	-
15	11.1	○	15	12.3	13 N,Q	15	10.7	○	15	-	-
16	14.0	2 N	16	15.6	○	16	-	-	16	15.2	-
17	13.0	○	17	-	○	17	11.6	○	17	16.5	5 U,T
18	12.8	2 M	18	7.8	○	18	14.0	○	18	15.7	2 U
19	13.1	○	19	11.0	○	19	11.0	○	19	16.1	3 V
20	11.2	○	20	8.0	○	20	11.0	○	20	17.0	○
21	11.8	3 ○	21	8.5	○	21	12.0	○	21	霧雨	○
22	12.0	○	22	9.0	○	22	-	-	22	霧雨	○
23	13.0	○	23	12.0	○	23	-	-	23	11.1	○
24	10.7	○	24	9.7	○	24	12.1	3 R,S	24	-	-
25	13.0	○	25	8.0	○	25	-	-	25	12.8	○
26	11.6	○	26	8.6	○	26	-	-	26	14.8	○
27	14.3	3 ○	27	6.3	○	27	9.3	○	27	-	-
28	7.6	○	28	14.4	○	28	14.0	○	28	-	-
29	8.5	○	29	6.0	○	29	10.4	○	29	11.4	○
30	7.2	○	30	9.5	○	30	9.8	○	30	18.5	雨-
12月			12月			12月			12月		
1	6.3	○	1	8.5	○	1	10.0	○	1	19.0	-
						3	13.0*	7 17:00	2	12.9	3 U,0
							11.8	E,0	3	10.7	○
						4	14.0*	2 T,0	4	9.9	○
							13.0		5	10.2	○
						5	14.1*	3 ○			
							13.0				
						6	13.2*	2 ○			
							12.5				
						7	10.6*	○			
							9.9				

* は17:00 の気温
(下段18:00 の気温)